

地域をつなぐネットワーク情報誌

かめ病通信 **こだま**

vol. 13 平成23年7月号



表紙の絵は患者様より提供して頂き、外来にて飾らせていただいています。

今号の内容

【特集】 亀岡病院内科

・腎臓病外来について

院長補佐 福島達夫

・京都病院学会発表

看護研究会

・スポットライト 医事課

「患者さんよりも早くあいさつ」をモットーに！

特集 亀岡病院内科

腎臓病外来について

当院では、新たに腎臓病外来を四月よりはじめました。今回は担当医の福島院長補佐「、「腎臓病外来とは？」というテーマで話を聞きました。また福島院長補佐はリウマチ科の専門医でもありますので、リウマチ外来についても話を伺いました。

近年、腎疾患は、慢性腎臓病（CKD・Chronic Kidney Disease）という概念で注目されています。これは、腎障害を合併すると、透析療法を必要とする末期腎不全への移行するだけでなく、心筋梗塞、脳卒中といった心血管疾患を発症しやすいことが知られているからです。

腎臓の機能が低下して、主たる腎臓の機能である老廃物、塩分や水分の正常なバランス保持ができなくなった場合、血液透析が必要になる場合があります。こういった事態を防ぐために、腎機能保持のために様々な治療を行う必要があります。その主な治療法は1・食事コントロール（塩分、タンパク質）、2・血圧のコントロール、3・脂質代謝の是正、4・禁煙などです。これらの治療介入を行い、積極的に腎機能の保持を行います。さらに、腎機能の低下した人では、脳梗塞や心筋梗塞といった重要臓器の血管保護療法や脂質代謝の是正は、こういった心血管イベントの抑制にも

効果があります。当院では、循環器内科とタイアップし、積極的な治療介入を行っています。

リウマチ外来について



当科では以下のような症状の患者様を対象にしております。

- ・ 1カ月以上も原因不明の発熱が続く
- ・ けがをしていないのに関節が腫れて痛む
- ・ 顔面、四肢などに原因不明の発疹ができる。
- ・ 著明な体重減少、食欲不振を認める
- ・ 血液検査でリウマトイド因子（リウマチ反応）もしくは抗核抗体が陽性といわれた。
- ・ 寒冷刺激で手指などが蒼白になる（レイノー現象）。
- ・ 何週間も多くの関節が痛む、腫れる。
- ・ 朝方に手の指がこわばる。
- ・ 日光に当たると発熱が続いたり、火膨れのようになりやすい（日光過敏症）。

関節リウマチの治療について

様々な疾病の中でも、近年治療法が最も進歩した疾患です。特に発症早期は薬の有効性が高く、

関節破壊防止の観点からも治療上重要な時期です。この時期の治療法選択はその後の関節予後を決定する可能性があります。内服薬で効果不十分な場合は、点滴あるいは皮下注射で投与するお薬（生物学的製剤）も治療選択肢となります。生物学的製剤は有効性が約85%と極めて高く、さらに速効性もあります。

当院では患者様の状況やニーズに応じた治療選択ができるように心がけています。

その他の膠原病について

当院ではその他に関節痛を来す疾患として、強皮症、全身性エリテマトーデス（SLE）などの膠原病診療も行っております。これらの膠原病と呼ばれる疾患は、多数の関節に炎症がおこったり、微熱が続いたり、手指の腫れや冷感（レイノー症状）を来すことがあります。このような症状を自覚されている方は一度受診されることをおすすめします。

院長補佐 福島達夫

日本腎臓学会・学術評議員・専門医

日本リウマチ学会専門医

日本内科学会専門医

スポットライト

今回のスポットは医事課

藤田医事課長に聞きました。

医事課が大切にしていることは、「患者さんよりも早くあいさつを」をモットーに！

病院玄関を入るとすぐ左側に受付と会計窓口があります。ここが私たちの医事課となります。亀岡病院に来院されたら一番最初にお会いするところが医事課であり、ついでに病院の顔としての最初の役目もついています。患者さんは、それぞれの事情をもって来院されるので、気軽に入れる雰囲気を意識して患者さんよりも早くあいさつをモットーに接するよう心がけています。



医事課の仕事って？

それでは、医事課の業務について、皆さんに接している仕事について大きく分けて4つのお話をします。

- ① 受付業務：病気やけが、あるいは健診で来院された方の受付と、カルテを診療科に搬送します。
- ② 会計業務：診察や検査が終了後、医事スタッフに戻ってきたカルテをコンピューター入力し、料金を打ち出します。そして、計算された請求書を元に患者さんから窓口負担金を頂きます。
- ③ 保険請求業務：私たちはレセプト業務とも言っていますが、患者さん個々の診療内容に対して、きちんと診断病名が付いているかなど定期的にチェックを行い、診療報酬の支払い先に1ヶ月単位で請求明細書（通称レセプト）で医療費を請求します。特に月初めの数日間には集中的にこれにあたっています。
- ④ カルテ管理業務：誰がいつ来院されてもわかるように保管管理しています。法律では5年間保存が義務付けられているのでかなりの量になりますが、5年以内なら直ぐに取り出せるようにしています。

以上が直接患者さんに関わり合う仕事の一部分です。医事課では病気やけがを治療することはできませんが、患者さんの心境をできる限り理解す

るよう努力し、少しでも楽な気持ちになられるよう心がけたいと思っています。

最後に・・・

「まだこの病院で診察を受けたい」と信頼していただけるよう努力するために、当院へのご要望（苦情も）などの、ご意見箱も設置していますのでご遠慮なくお聞かせください。



医事課職員

京都病院学会

平成二十三年六月十二日に京都病院学会が開催され、当院からは看護部より発表致しました。学会に参加した職員からは、他の病院発表を聴き、当院でも活用できる点などがあり、良い刺激になったと報告がありました。当院の発表報告を掲載させていただきます。

当院のインシデントアクシデント報告に関するスタッフの意識調査

～報告に対する抵抗感をなくすために～

1. はじめに

現在、医療現場における事故、過誤の問題が世間でも多く取り上げられ、医療に対する不安や不信は深刻な問題となっている。当院においても病院機能評価受審を機会に、医療安全への取り組みも高まってきた。看護研究委員会でも医療安全を考える中、現場でインシデント報告書の書き方がわからない、誰が記入したらよいのか、まだ提出されていない事がある等の意見があり、報告に対してスタッフの中で意識の差があると感じた。そこで、今回インシデント報告に関するアンケート調査を実施し、その結果を分析・検討し積極的に提出できるように、スタッフの意識の改善につなげる必要があると考え研究に取り組んだ。

2. 研究目的

- ① 報告書に対するスタッフの意識調査
- ② インシデント報告の意義・目的の理解を深める

3. 研究方法

- ① 一回目アンケート調査 (H21.11.2～11.9)
※看護師、ケアワーカー対象74名
- ② 報告に関する勉強会実施 (H22.5.12 5.27)
- ③ 二回目アンケート調査 (H22.6.4～6.11)
※一回目アンケート回答74名対象に実施



4. 結果

一回目調査において、インシデント用紙に記入するときの抵抗感・個人的責任を追究されていると感じるという回答に六割、報告の流れを知らないという回答も六割、また報告ができていないと思ったことがあるという回答も六割近く高い結果であった。

この結果から、インシデントアクシデント・医療安全推進の背景・ハインリッヒの法則・報告の目的・当院症例検討等について勉強会を実施した。その後の二回目の調査では、抵抗感を感じるという回答は三割弱に、個人的責任追求を感じるという回答は三割に低くなり、また、報告の流れや積極的に報告する必要性があるとの回答は九割と高くなった。

報告後、各部署での対策に対する話し合いが充実したという回答に変化はなかった。

5. 考察・おわりに

勉強前のアンケート結果から報告に対する知識不足・意識不足が考えられるが、勉強会後報告は、責任追究するものではなく医療事故を防ぐために、スタッフ全体で振り返り工夫していくための資料であるということの理解がすすみ、スタッフの意識が改善されてきたと考える。

対策に対する話し合いの充実について、変化がなかったという結果だったが、現在は、報告書をもとに積極的にカンファレンスを行い、対策を考える事が出来るようになった。

柿田氏は、「医療事故はたとえ万全の対策をとったとしても残念ながら発生しうるものであり、個々の努力による防止対策には限界がある。それだけに組織的な安全対策と努力が必要である」と述べている。報告書は対策を考えるうえで最も必要な資料である。報告書が円滑に提出されることは現場スタッフの危機管理への意識の高さを証明するものである。提出された報告書からリスクの把握と分析と対処と評価のプロセスが継続できるように引き続き組織全体で取り組み、インシデント・アクシデントの減少につなげたい。

引用 柿田章博か：医療事故原因防止と対策ガイド、日経研出版、2001
 参考 秋ゆたか：サクサク看護研究、株式会社中山書店、2006



交通安全教室

亀岡病院トピックス

六月二十一日に亀岡警察署交通課長様に来て頂き交通安全管理講習会を開催致しました。

交通課長様より平成二十二年度京都府内における人身事故状況、亀岡署管轄内での交通状況等を講義して頂きました。講習により一瞬の気のゆるみが自分を加害者にも被害者になることを改めて実感しました。大惨事を招かないためにも気のゆるみには注意し、ゆとりを大切に於て運転を行わなければならないと学びました。



| 理 念 | 患者さんの権利 |
|---|--|
| <p>私たちは、高い医療技術と温かい心を持って、医療・介護を提供し、地域社会の発展に貢献します</p> <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者様中心の良質な医療と介護を提供します (良質な医療と介護) 医療安全に最大の注意を払います (医療安全) 地域の医療機関や介護サービス機関と連携し、地域医療・介護の充実に貢献します (地域連携) 全職員は常に最新の医療・介護の研鑽に努めます (研鑽) <p>改訂 平成 23 年 4 月 1 日</p> | <ul style="list-style-type: none"> 一人の人間として尊重される権利 年齢・性別・宗教を問わず、平等に必要な医療を受けることができる権利 病気・治療について十分な説明を受ける権利 治療方針につき同意・拒否ができる権利 個人情報を守られる権利 セカンド・オピニオン (他の医療機関の医師の説明) を受ける権利 <p>患者様へのお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ご自身の病状について、できるだけ詳しくお話し下さい ご自身の治療に関する希望、あるいは希望しないことがございましたら、お申し出下さい。 ご自身の病気・治療で分からないことがございましたら、説明をお求め下さい 患者様・ご家族様は、治療チームの一員です。治療にご参加・ご協力をお願いします。 他の患者様の診療と療養に支障を来すような行為は慎んで下さいますようお願いいたします |

併設施設

| | |
|----------------------|----------------------|
| 亀岡市地域包括支援センターかめおか | TEL 0771(29)5155 |
| FAX 0771(29)3220 | |
| 居宅介護総合支援センター | TEL 0771(22)9210 |
| FAX 0771(29)3220 | |
| 訪問看護ステーション | TEL 0771(25)8700 |
| TEL 0771(25)0050 | |
| 訪問介護ステーション | TEL・FAX 0771(25)8100 |
| TEL・FAX 0771(25)6260 | |
| デイサービスセンター | TEL・FAX 0771(23)6600 |
| TEL・FAX 0771(21)0210 | |
| 第2デイサービスセンター | TEL・FAX 0771(22)9205 |
| 介護複合施設けやき | TEL・FAX 0771(22)9206 |
| デイサービスセンター | TEL・FAX 0771(27)8550 |
| シヨートステイセンター | FAX 0771(27)8555 |
| 別院診療所・デイケアセンター | |



地域連携室より

患者様・ご家族様の不安や悩みについてのご相談に応じています。

連絡先

担当者：政川孝子

TEL0771-22-0341/FAX0771-22-9200

e-mail:kamehpmasakawa@lion.ocn.ne.jp

- 訪問サービス
- 訪問診療
- 訪問薬剤
- 訪問リハビリテーション
- 訪問看護
- 訪問栄養指導

〒621-0866

京都府亀岡市旅籠町 29

TEL0771-22-0341 FAX0771-22-4305

<http://www4.ocn.ne.jp/~kamebyou/>

診療科目

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、リウマチ科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科

許可病床数 140床 (3病棟)

次号
平成二十四年一月発行予定

編集後記
今年、電力不足が報道されていますが、皆さんどのように対策をされるでしょうか？当院では、クールビズやエアコン設定温度変更・照明の調節等に取組みんでいます。あくまで「私達にできること」を今後も考えながらですが、暑くなりまして、夏の暑さに慣れるのが大変ですね。

広報委員 齊藤博之